



ライフスタイルオフィス（下）
清水英雄氏（左）と大悟氏（右）



リノベーション

ライフスタイルオフィス を開設／清水英雄事務所

住宅・建材分野等のコンサルティング事業を行っている清水英雄事務所（東京都北区昭和町）は、本社オフィスにおいて、「ライフスタイルオフィス」をオープン。5月14日より営業を開始した。同物件は、上野から1駅の尾久駅から徒歩5分。築33年、4階建、20世帯、320坪のマンションにある1階の事務所50㎡（清水英雄事務所のオフィス）をフルリノベーションしたものだ。

利用者のイメージとしては、国土交通省が今後の住宅のあり方としても示している空き家をサテライトオフィスとして有効活用する事例を想定。60代のオーナーと30代の男女のスタッフの好みに合ったデザインに設えた。もともと2LDLの住宅として利用されてい

たものを、間仕切壁をとってユニットバスを撤去して収納に変更するなど思い切った改修をほどこしてオフィスに一新した。

コーデイネートはサポート会員の南青山オフィスで担当。フランス・パリで開催されたライフスタイルデザイン展 *Maison & Object*（メゾンエオブジェ）で話題になったデザインを取り入れた空間にフルリノベーションした。最先端のアクセントウォールや収納スタイル、照明等でコーディネートされている。デザインの要点としては、オランダのリートフェルトにあるシュナイダー邸の発想を取り入れつつ、3種類の柄（モロッコ調の柄など）と色（オレンジ、グレー、赤）のコンビネーションさせたフレンチスタイルの空間とした。

壁の色違いのクロスの継ぎ目の処理など施工技術的にも豊富な見どころがあり、会員各社には営業ツールとして活用できるようにビフォー・アフターの比較画像を提示している。一般的な施工をもとに、どの会社でもすぐ対応できる仕組みとし、施工の順序を変えらることで工程を短縮する方法を開

発。従来よりも安価な原価で利益が取れる仕組みになっている。

同社では5月23日に東京八重洲、6月27日に東京上野にて講演会を開催。八重洲では工務店や流通店の事業者、業界団体の関係者など約50名が参加した。ゲストとして、弁護士法人匠総合法律事務所の代表社員弁護士秋野卓生氏が「コンプライアンスの次はSDGs」と題して講演。住宅業界でも注目を集めているSDGsの仕組みと住宅分野における環境保全、働き方改革などの観点からどのような項目に注目して事業に反映していけばいいのかについて具体的な内容に踏み込んで解説を行った。後半では清水英雄氏が「2020年以降の住生活産業界の展望」と題して講演。清水大悟氏からは、これからの住生活産業において重要な家づくりのポイントとして、各住宅スタイルのコンセプトに関する概要が紹介されたほか、WEBマーケティングに必要な基礎知識に関する講演が行われた。同社では定期的に海外研修を実施しており、今年のミラノサローネの特色について、パートナー事業者から報告があった。